

日本デフビーチバレーボール協会

コンプライアンス委員会議事録

第 1 回コンプライアンス委員会

日時 令和 4 年 10 月 15 日(土)16:00～17:30

場所 オンライン会議

出席者

- 委員長
- 理事 2 名
- 事務局

議題

1 コンプライアンス委員会設置について

令和 4 年 9 月開催の理事会決議に基づき、法令遵守及びガバナンス体制の強化を目的としてコンプライアンス委員会を設置したことを確認した。

委員会の役割として、次の事項を確認した。

- 法令及び諸規程の遵守
- 倫理規程の運用
- ハラスメント防止
- 利益相反管理
- 個人情報保護
- コンプライアンス教育
- JPC ガバナンスコードへの対応

2 委員長の選任

委員の互選により委員長を選任した。

3 外部委員の選任について

コンプライアンス体制の客観性及び専門性を高めるため、弁護士等の外部有資格者を委員として選任する方向で協議した。

現時点では専任には至っていないものの、候補者との調整及び受任可能性について継続して協議を進めることを確認した。

4 今後の取組

- コンプライアンス規程の整備
- 通報・相談体制の整備
- ハラスメント防止研修
- JPC 適合性審査への対応

決定事項

1. コンプライアンス委員会を正式に発足する。
2. 外部有識者の選任を継続して進める。
3. 年1回以上委員会を開催する。

日本デフビーチバレーボール協会

コンプライアンス委員会議事録

第 2 回コンプライアンス委員会

日時 令和 5 年 4 月 20 日(土)

場所 オンライン会議

議題

1 令和 4 年度活動報告

規程整備及びコンプライアンス体制の運用状況について報告を受けた。

重大なコンプライアンス違反及び通報案件は確認されなかった。

2 リスクの洗い出し

次の事項についてリスク管理を行うことを確認した。

- ハラスメント
- SNS 利用
- 個人情報管理
- 会計処理
- 利益相反
- 選手選考の透明性

3 外部委員選任状況

弁護士等の外部有資格者への就任依頼について報告があった。

大分市での候補者紹介者との調整及び謝金などについて協議を継続しているため、現時点では正式な委嘱には至っていないことを確認した。

今後も専門家の参画に向けて継続して調整することとした。

4 改善事項

- コンプライアンス研修の実施
- 通報窓口の周知
- 利益相反自己申告制度の導入検討

決定事項

1. コンプライアンス研修を年 1 回実施する。
2. 外部有識者選任に向けた調整を継続する。
3. リスク管理状況を理事会へ報告する。

日本デフビーチバレーボール協会

コンプライアンス委員会議事録

第3回コンプライアンス委員会

日時 令和6年4月19日(土)

場所 オンライン会議

議題

1 東京2025デフリンピック開催に向けたコンプライアンス体制

大会を見据え、次の事項について確認した。

- 法令遵守
- 倫理規程
- ハラスメント防止
- SNS 利用
- アンチ・ドーピング教育
- 個人情報管理
- 危機管理体制

2 JPC ガバナンスコードへの対応

ガバナンスコードの自己説明・公表状況について確認し、継続的改善を図ることとした。

3 外部委員について

専門性及び独立性向上の観点から、弁護士等の外部委員の専任について改めて協議した。

複数の候補者との調整を進めているものの、委員会活動への参画条件等の調整に時間を要しており、正式委嘱には至っていない。

今後は選任に向け、大分市以外の地域についても紹介者などとの協議を継続することを確認した。

4 その他

役員及び代表選手に対するコンプライアンス研修を実施することとした。

決定事項

1. デフリンピックに向けたコンプライアンス教育を実施する。
2. 外部委員の選任を引き続き進める。
3. リスク管理状況を理事会へ報告する。

日本デフビーチバレーボール協会

コンプライアンス委員会議事録

第 4 回コンプライアンス委員会

日時 令和 7 年 4 月 18 日(土)

場所 オンライン会議

議題

1 東京 2025 デフリンピック直前のコンプライアンス確認

大会開催を目前に控え、次の事項について最終確認を行った。

- ハラスメント防止
- 情報管理
- 個人情報保護
- SNS 利用ガイドライン
- 利益相反管理
- アンチ・ドーピング
- 緊急時対応

2 コンプライアンス相談体制

大会期間中も相談窓口を維持し、必要に応じて迅速に理事会と連携することを確認した。

3 外部有識者の選任状況

コンプライアンス委員会の独立性向上を目的として、弁護士等の外部有資格者への就任依頼を

継続していることが報告された。

候補者の選定活動は継続中であり、現時点では正式な委員委嘱には至っていない。今後は謝金などの条件を見直したうえで選任に向けた調整を継続し、体制強化を図ることを確認した。

4 大会終了後の対応

デフリンピック終了後にコンプライアンス上の課題を検証し、必要に応じて規程及び運用方法を見直すこととした。

決定事項

1. 大会期間中のコンプライアンス体制を維持する。
2. 大会終了後に検証会議を開催する。
3. 外部有識者の選任に向けた協議を継続する。
4. JPC ガバナンスコードに基づく継続的改善を推進する